

近江同盟新聞

発行所

近江同盟新聞社

彦根市立花町2-63

TEL 23-0066

FAX 23-0067

購読料 月840円

(消費税5%込み)

日・水曜・祭日休刊

禁無断転載

市議会

三月定例会代表質問始まる

市長「馬券売場反対」明言

彦根市議会三月定例会は五日、本会議を再開し一般質問(代表)を開始した。質問に先立ち獅子山向洋市長は、総額四億三千九百七万円の平成十八年度一般会計補正予算案など追加九議案を提案した。代表質問はトップに彦根市の松本忠男議員が行い、続いて新政ひこね、公政会、市民クラブ各会派の予定。六日から個人質問に入る。

五日午前九時半すぎから

始まった会派代表質問では、

まず彦根市の松本忠男議員が、新年度予算と彦根城築城四百年祭、彦根市立病院の産科医減少問題、環境問題とごみの減量化、農地・水・環境保全向上対策、場外馬券売場設置請願同意に対する市長の姿勢、給食費の未納問題、彦根城世界遺産登録の推進、彦根市と犬上郡三町の新たな合併に向けた住民投票条例案などに

ついて質問した。

このうち松本議員は、場外馬券売場設置問題と設置推進団体の同意請願採択について「市長は設置同意に反対と受け止めてもよいのか」と所信を求め、「誘致計画に市長の同意が必要であれば、獅子山市長の在職中は場外馬券売場の誘致計画ができないと考えても相違ないのか」と質問した。

これに対して獅子山市長は「ギャンブル施設反対は公

約であり、現在も一貫して反対している。所信は彦根

にギャンブル施設はいらないの立場である。公約を覆すのは難しい。推進団体やコンサルタントには、周辺自治会の反対や市民の反対にどう対応するのか伝えている。市議会でも賛同請願が採択されたが、市民からはどういうことで採択されたのか質問され困っている。推進派はJRAからお金が出るとか四百年祭に寄付が

あると聞いたとしているが、そういう提案があるなら内部的な話でなく市民に明確に示して欲しい。基本的にギャンブルは社会問題であり彦根だけの問題ではない。もし市民あげてギャンブルのまちづくりをする考えがあれば、市長公約変更も考えるが、さまざまな条件は(任期中に)解決できないと考えている」などと答弁した。